

次期「基本構想（案）」にかかる市民意見の概要と神戸市の考え方について

○募集期間：2024年6月21日（金曜）～2024年7月21日（日曜）

○ご意見数：11通（19件）

※ご意見の内容は趣旨を損なわない程度に要約しています。

①文言の修正にかかるもの

	意見の概要	意見に対する神戸市の考え方
1	<p>全体的にぼやけており、何が言いたいかわからない。</p> <p>京都市の基本構想は、哲学者が取りまとめており、読み応えがあって心に響く内容である。神戸市も、市内在住の作曲家など、神戸に所縁のある有識者の協力を得て、ブラッシュアップして欲しい。</p>	<p>特定の有識者に依頼する手法もありますが、本市では有識者25名による審議会に次期「基本構想（素案）」を諮問し、それぞれの専門的な見地を踏まえた修正を重ねています。</p> <p>今後も有識者の意見を踏まえて改善していきたいと考えています。</p>
2	<p>6段落目後半の「豊かな自然とひとの営みが織りなす一人ひとりが幸せを感じられるまちへ」は繋がりが悪い。「豊かな自然と人の営みが織りなす」ものは何か。次の3案を提案したい。</p> <p>①豊かな自然とひとの営みが織りなす 幸せを感じられるまちへ</p> <p>②豊かな自然とひとの営みが織りなす 幸せを一人ひとりが感じられるまちへ</p> <p>③幸せを一人ひとりが感じられる 豊かな自然とひとの営みが織りなすまちへ</p>	<p>6段落目では、神戸が、豊かな暮らしを実現できるまちとしてありたいという思いを表現しています。</p> <p>ご指摘の「豊かな自然と人の営みが織りなす」と「一人ひとりの幸せを感じられる」の2つの文章は、いずれも「まち」を説明しています。</p> <p>本市がまちづくりで重要な観点と考える「一人ひとりの幸せを感じられるまち」を強調するため、現在の構成としました。</p>
3	<p>神戸には街の個性を失ってもらいたくない。個性を育むと、市民等はまちに誇りを持ち、まちの発展等への応援にも繋がる。</p> <p>現在、多くの街で、経済発展を重視したことで、似たり寄ったりの街並みが形成されている。今後、基本計画等を策定する中で「神戸の個性が育まれる計画になっているか」と立ち返れるよう、7段落目に「個性」の要素を追加し、「いつまでもまちの個性と誇りを育み」として欲しい。</p>	<p>神戸が独自の文化等と発展してきた経緯を踏まえると、「個性」の視点は非常に重要であると考えています。</p> <p>次期「基本構想（案）」は、前半で『先人から紡いできた神戸ならではの「まちやひとの魅力』』、後半で『これらを活かしながら目指していく「未来のまちにむけた方向性』』を表現しています。</p> <p>第7段落目の「誇り」には、市民等の神戸への愛着のほか、「先人たちが築きあげてきたまちの魅力（＝個性）」も含まれています。</p>
4	<p>第1段落の「文化や流行を日本に生みだしてきました」を「長く市民に愛される文化や流行を育んできました」に修正。</p> <p>神戸が文化を「生み出した」というのは語弊で、市民文化の起点として海外交流があったとするのが正確。</p>	<p>神戸は海外からの文化や流行等を取り込み、市民に広げてきた功績もありますが、その一方で海外文化を独自にアレンジし、新しい文化や流行として生み出した歴史もあります。</p>

5	<p>第2段落の「まちに溶け込む坂道も」を「まちに溶け込む坂道も（改行）海と空を吹き抜ける風も」に修正。</p> <p>この段落に「海」に関する描写がないことはおかしい。</p>	<p>次期「基本構想（案）」は、出来る限り同一単語が重複しない構成で作成しています。</p> <p>「海」は第1段落で既に使用しています。</p>
6	<p>第3段落の「幾度となく困難を乗り越えた絆」を「命と暮らしを奪った災害の中でも支え合う人々」に修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> 阪神淡路大震災等の自然災害を直接的に書くことで、街の歴史に与えた意味合いを残すべき。 「絆」があるから災害時に助け合ったのではなく、自身と同じ理不尽な境遇に置かれた人を見捨てるが出来なかつただけではないか。ここで使うならせめて「つながり」では。 困難を「乗り越えた」というのはまだ時期尚早。 	<ul style="list-style-type: none"> この「困難」には、自然災害のほか戦争や感染症等も包含しています。 以下の①②より「幾度となく困難を乗り越えた絆」を「ともに困難を乗り越えていく絆」に修正しました。 ①「絆」は、これまで神戸が様々な困難を乗り越えてきた中で、その存在に気付いたり、新たに築かれた人々の結びつきを示し、今後も神戸に関わるすべての人と「ともに」あることを表現しています。 ②「乗り越えていく」の表現は、これまで発生した困難や、これから発生しうる困難を「ともに」乗り越えるという強い意志を表現しています。
7	<p>第4段落の「すべてのひとをやさしく包み込みます」を「この街に関わるひとをやさしく包み込みます」に修正。</p> <p>「すべてのひと」が神戸市民を指すのか、神戸に直接間接に関わる人を指すのか、全人類を指すのか、明確にすべき。</p>	<p>「すべてのひと」とは、神戸のまちに関わるすべてのひとを指しています。</p>
8	<p>第5段落の「世代や立場を超えた繋がりの中で 広く内外に貢献し」を「考え方やあり方を超えて繋がり 広く国内外に貢献し」に修正。</p> <p>世代や立場という内政的な視点ではなく、思想信条や立場、人種や言語を含むコスモポリタンな言い方に変えるべき。そうであるならば、後段は必然的に「国内外」とすべき。</p>	<p>思想信条や立場、宗教や経済階層、人種や言語といったコスモポリタンの視点を、『世代や立場を超えて』で表現しています。</p> <p>また、貢献の対象については、神戸市の近隣都市等との繋がりも考慮したうえで「内外」と表現しています。</p>
9	<p>第6段落の「培ってきた技術と知の集積により」を「培ってきた技術と知と文化の集積により」に修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済発展の段落には、生活産業、娯楽産業、文化・芸術産業、スポーツ産業の視座は必要。また、経済発展の目的が、より豊かな文化的な暮らしの実現であることも忘れてはならない。 そうすると、「培ってきた…」 「時代を…」の2行の間に、「文化が香る心豊かな暮らしをつくり」といった行が必要では。 	<p>第5段落は、産業等の発展に関する部分で、まちの力強さを表現しています。</p> <p>ご認識のとおり、経済発展の目的は文化的な暮らしの実現であると考えており、第6段落で個々の暮らしの豊かさを表現しています。</p> <p>なお、次期「基本構想（案）」は、出来る限り同一単語が重複しない構成で作成しています。</p> <p>「文化」は、既に第1段落で使用し、第4段落でそれを受け継ぐ表現としています。</p>

②意見収集の手法にかかるもの

	意見内容	市の考え方
1	<p>次期「基本構想」の作成にあたり、市民へアンケートを実施したとのことだが、ネットモニターをはじめに現在神戸市で行っているアンケート等の調査は、対象の母集団の特性(年齢性別等の人口比率)が反映されておらず、標本としての信頼性が皆無。</p> <p>全アンケートをやり直し、信頼できる標本を抽出したうえで、再度構想を検討して欲しい。</p>	<p>多くの神戸に関わる方々による参画を得るため、対象を特定せず、ホームページやSNS、広報紙等により広く発信しながら、アンケートやワークショップ等を通じ、約25,000人(ほか小中学生約35,000人)から、「神戸のまちやひとの魅力」などの意見を収集しました。</p> <p>【参考】令和5年度の皆さんの参画状況等 https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/kihonkeikaku.html</p>
2	<p>次期「基本構想(案)」の内容が空疎で抽象的。共感も反感も抱けず、神戸市が何をしたいのか伝わらないため、ただただ戸惑いを覚える。</p> <p>「なぜ今、神戸市で総合基本計画が必要なのか？」を明確にして、市民に喧伝すべきではないか。</p> <p><補足></p> <p>次期「基本構想(案)」は、ミクロとマクロ、手段と目的が混在している。これは担当部署がロジックツリーを作っていない、もしくはロジックツリーを作ったものの「原因分析」「問題解決」が混在し未完成なため。担当部署は今一度ロジックツリーを作成し、公開して欲しい。</p>	<p>次期「基本構想」は、まちの基本理念として、激化する都市間競争等の中で、先人から引き継ぎ将来に紡いでいくべきまちの魅力や未来に向けた方向性を、市民等の皆さまからいただいた意見をもとに、端的なメッセージとして整理するものです。策定後は、市民等への周知のほか、神戸のまちの魅力等を対外的に示すシティプロモーションにも活用していきたいと考えています。</p> <p>なお、具体的なまちづくりの将来像や施策については、下位計画となる今後10年間の将来ビジョンとなる「基本計画」や、5年ごとの具体的なアクションプランとなる「実施計画」の中で検討していきます。</p> <p>また、「今、総合基本計画を策定する理由」は次のとおりです。今後、しっかりと周知してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合基本計画が、神戸市議会基本条例の議決事項や報告事項に定められており、いずれの計画も2025年に終期を迎えるため。 ・激化する都市間競争や社会変容の中、進化する神戸のまちの将来像や方向性を示し、他都市との差別化や、シビックプライドの醸成、シティプロモーションに繋げていくため。
3	<p>第1弾アンケートで「あなたの『神戸といえば〇〇やんなあ』を教えてください！(選択式)」という設問があるが、これは誘導的な設問で、回答者が「大事に思っていること」等を示す内容ではない。</p> <p>また、次期「基本構想」に反映する要素として、自由記述の意見が重要であるが、「主な意見集」では、市が自らの施策や思惑のために「市民等からの意見」を歪めてまとめているのが散見。例えば、『神戸の「まち」や「ひと」の魅力』では、ワードクラウドで「神戸愛」や「坂」等の記載がないにも関わらず意見集で取り上げられている。</p> <p>このように、次期「基本構想(案)」は、「市</p>	<p>第1弾アンケートでは、市で設定した神戸の魅力に関する25項目の評価を通じ、まちのイメージを膨らませた後、自由記述で『神戸の自慢できること』等を回答していただきました。25項目の評価と自由記述の回答傾向は概ね一致しており、自由記述の集約結果を中心に次期「基本構想(案)」を検討しました。</p> <p>次期「基本構想(案)」は、アンケートの他、ワークショップや有識者による現行の基本構想から引き継ぐべき要素等の意見を取りまとめ、有識者25名からなる神戸市総合基本計画審議会にて修正を重ねたものです。</p> <p>使用する単語は、幅広いイメージができ、柔らかい印象のものを選定し、ワードクラウド</p>

3の 続き	の都合や思惑で市民等の意見が歪められたもの」と言え、疑義が生じたまま進めることはできない。再考が必要。	とは別の言葉に置き換えたものもあります（例：旧居留地や異国情緒⇒洗練されたまち並み など）。
4	<p>ホームページに「神戸のまちやひとの魅力」等の記載があり、次期「基本構想」の策定は「市民の神戸に対するロイヤリティ」や「都市ブランド」を調べたうえで進めるものと思っていたが、アンケートやワークショップの結果も学問的に活かさず、「大学都市」と標榜を掲げているにも関わらず、極めて古臭い市政が露わになっている。</p> <p>また、次期「基本構想」策定に向け、市の現状や過去の施策の課題等を明らかにせず、反映させてもいない（解決方針も示せていない）。</p> <p>大学の協力を得ながら、「市民の神戸に対するロイヤリティ」や「都市ブランド」の現状・課題等を明らかにした上で、解決する施策として次期「基本構想（案）」を作り直すべき。</p>	<p>次期「基本構想」は、まちの基本理念として、激化する都市間競争等の中で、先人から引き継ぎ将来に紡いでいくべきまちの魅力や未来に向けた方向性を端的なメッセージとして整理するものです。</p> <p>次期「基本構想」策定に向け昨年度実施したアンケートでは、第1弾で神戸の魅力を訴求し、第2弾で分析後の第1弾の結果を深掘りする設計としました。いただいた意見は、ワークショップ分も含め、テキストマイニング等により集計・分析し、次期「基本構想（案）」を構成する要素を抽出しました。</p> <p>また、本市では、実施計画の推進の取り組みとして、毎年有識者による神戸2025ビジョン推進会議を開催しています。次期「基本構想（案）」は、当会議で出た現行の基本構想から引き継ぐべき要素等も踏まえて作成しています。</p> <p>市の現状や課題等を踏まえた具体的なまちづくりの将来像は、基本構想の下位計画で、今後10年間の将来ビジョンとなる「基本計画」や、5年毎のアクションプランとなる「実施計画」で検討していきます。</p>

③未来への承継にかかるもの

	意見内容	市の考え方
1	<p>景色を想像でき、わかりやすい構想案に感じる。</p> <p>こどもまんなか社会や働き方改革、SDGsやゼロカーボンなど、世の中の潮流の変化とともに、神戸の雰囲気も移り変わると思うが、その中でも言葉だけでは伝承できない神戸のこれまでの歩みなどは、目に見える形で残っていったら欲しい。</p> <p>例えば、ポートタワーを含む港の雰囲気、震災の名残や復興イベント、祭りや商店街などの活気など。</p> <p>新世代が古きを訪ね新しきを知るきっかけとなるよう、神戸で生まれ育った世代がいつでも懐かしさに包まれ安心できる故郷になることを願う。</p>	<p>これまでに、先人たちが築き上げてきた神戸のまちの歴史や風景等を守り、新たな時代の変化に柔軟に適応しながら、市民等の皆さまにいつまでもまちを誇っていただけるよう、これからもまちづくりを進めていきます。</p>
2	<p>神戸は、世界的な港町で、イタリアやドイツに居る知人に「KOBEに住めていいね」と言われるのが私の誇り。50年、100年経ってもクリーンな神戸市政であって欲しい。</p>	

④具体的な施策に関わるもの

	意見内容	市の考え方
1	<p>少子化による人口減少に伴い、市内の就労人口も減少する中、外国人労働者が神戸のまちで働き、生活が根付くように、以下の支援が出来ないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人と同様の給与水準や福利厚生の充実 ・日本人の高齢者（ボランティア）が、外国人との面接を通じてマッチングし、半年以上生活をサポート 	<p>この度の次期総合基本計画の策定に伴い、本市では、次期「基本構想」を、まちの基本理念として激化する都市間競争や社会変容の中で、先人から引き継ぎ将来に紡いでいくべきまちの魅力や未来に向けた方向性を端的なメッセージとして整理しました。</p> <p>具体的なまちづくりの将来像や施策については、基本構想の下位計画であり、今後10年間の将来ビジョンとなる「基本計画」や、5年ごとの具体的なアクションプランとなる「実施計画」の中で検討していきます。</p>
2	<p>新神戸駅周辺は、海外から多くの人が降り立つ神戸の顔であるにも関わらず閑散。テナントの空きが目立ち食事処もない。AIシアターは、土日も開いておらず、いつ営業しているのか分からない。</p> <p>三宮の混雑を避ける方向けに、隠れ家的カフェや子供が走り回れる芝生スペース、子供用トイレなど、ハード面の整備等ができないか。</p>	
3	<p>神戸は、外国人を歓迎する街として、そして外国人と日本人がチームとして友好的な関係を築く街として知られるべき。以下の内容について、改善して欲しい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日本人と外国人が交流する際に、外国人が日本語を話そうとするのと同じように、日本人も世界共通語である英語を話すか、通訳を利用 ②市から外国人への郵送物は、英語と日本語を併記。 ③市内の飲食店で、宗教上の理由等で食事制限がある人向けのメニュー提供 ④外国人を対象とした、神戸の物流に関するオリエンテーション（日本人と外国人の団体が共催）を半年に一度開催 	
4	<p>郊外住宅団地では、バス等の公共交通の運行回数減少によって住民生活に大きな支障が生じている。次期「基本構想」の中に、早急に取り組むべき課題として郊外住宅団地の交通問題の解決を明記して欲しい。</p>	